2021年度　教育研究活動報告書

氏　　名	所　　属	職　　位	学　　位
佐々木由美子	こども心理学部	教授	修士（文学）（白百合女子大学） 修士（人間科学）（東洋英和女学院大学）□

【1】あなたの今年度の本学での活動を以下の項目にしたがって文章でまとめてください。

[1-1]自己評価　①教育 ②研究 ③社会貢献 ④学内運営に沿って書いてください（1200字程度）

1）教育

今年度は、オンライン授業と対面授業が混在する中で、どちらのメリットも活かせるような授業展開を心がけた。対面授業時には特に実践的活動を中心に行なった。ゼミ活動においては、4年生は東京おもちゃ美術館に見学にいくことができた。ちょうどおもちゃについての卒論を執筆している学生もおり、さまざまなおもちゃに実際に触れることで遊びや子どもの文化についての理解を深めることができた。3年生は、例年よりも回数は少なくなってしまったが、保育園でのお話会を実施することができた。□

2）研究

今年度は、保育学会では、かこさとしについて、また日本児童文学学会の研究大会では、「つるばら村シリーズにおけるおみせやさん」と題し、子どもの本におけるモノの役割に着目した研究発表をおこなうことができた。私自身にとっては新たなテーマであり、さらに深めていきたいと考える。学術論文では、子どもの自然理解に関する論文「3歳児は自然をどのように理解していくのか―絵本と実体験の間―」と、保育における紙芝居活用の変遷について考察した「保育における紙芝居の動向―1945年以降を中心に―」をまとめることができた。

3）社会貢献

子どもの文化研究所の編集委員、板橋区のいたばしボローニャ絵本館の企画運営委員、吉祥寺市の子育て支援事業・吉祥寺0123の企画委員として、子どもと絵本をつなぐ活動や、子育て支援を継続しておこなったほか、足立区の子ども施設指定管理者選定等審査会委員として指定管理者を選定に携わった。また、新たに『こども白書』の文化領域の企画編集委員として編集にかかわることができた。

今年度は、特に園内研修や講演等、保育園・幼稚園に出向くことが多く、現場の保育者とともに学びを深めることができた。

4）学内運営

図書館長として図書館管理運営委員のメンバーたちと協力し、図書館を有効活用し、学生の学習支援をしていけるよう取り組んだ。図書館の遠隔サービスの継続、電子書籍の利用促進を図るとともに、書庫の外部委託を行い、利用しやすい図書館の環境を整えつつある。また、学生のオンライン選書ツアー、絵本作家とよたかずひこ氏の講演会、「海外に紹介された日本の絵本展」を実施するなど、学生が図書館や本に親しめるイベントを実施した。

[1-2]今後の目標と計画　①教育 ②研究 ③社会貢献 ④学内運営に沿って書いてください(800字程度)

1）教育

次年度、全面的に対面授業になるのか、まだわからないが、これまでオンラインでのみおこなってきた「環境」を学習した学生たちが3年次に「環境指導法」を受講することになるが、領域「環境」の理解をより深めていくとともに、実際の保育を構築する上でどのようにカリキュラムに取り入れていくのか、どのように子どもと関わっていくのか、保育実践につながるような力を育てていきたい。「環境指導法」および「子どもと言葉」は、一部のクラスを非常勤の先生にもお願いしている授業なので、より連携を密にしていく。

2）研究

子どもの昔話離れがいわれている。桃太郎さえ知らない子も増えている。「保育の中の昔話」というテーマを深めていきたいと考える。また、保育関連では遊びの継続性について研究を進めているところである。

3）社会貢献

今年度、絵本について、保育園・幼稚園等で講演させていただく機会が多くあり、豊かな学びを得ることができた。今後も、現場の保育者とともに子どもの育ちや保育と絵本、紙芝居等の文化財について深め、講演活動や子育て支援を続けていく。

4）学内運営

図書館長としては、開かれた図書館をめざして、改革・改善をさらにすすめていく予定である。

また、高校への出前授業等の広報活動や、足立区の幼稚園・保育園等との連携なども積極的におこなっていく。□

【2】社会活動（学会、研究会、法人、自治体等） 2021年度

社会活動				
分類	機関名・企業等名	役職等名	就任年月	退任年月
学会	日本児童文学学会	学会員	1998.04	
	日本児童文学学会	理事	2011.11	2017.11
	日本児童文学学会	理事	2019.11	2021.11
	絵本学会	学会員	1998.04	
	絵本学会	理事	2018.04	
	絵本学会	事務局長	2021.05	
	日本保育学会	学会員	2008.04	
	保育文化学会	学会員	2015.04	
研究会	子どもと言葉研究会			
	日月会（児童文学研究会）			
	紙芝居研究会			
自治体	足立区	子ども施設管理者審査会委員		
	板橋区	いたばしボローニャ絵本館企画運営委員		
	武蔵野市	0123吉祥寺企画運営委員		
法人	子どもの文化研究所研究所	企画編集委員		
	日本子どもを守る会	『こども白書』企画編集委員		
	株式会社杉友	アジア国際こども映画祭審査委員		

学内委員			
委員会	役職名	就任年月	退任年月
図書館管理運営委員会	委員長	2019.04	

担当授業科目
環境（通）
環境指導法（通）
子どもと言葉（通）
子ども文化（通）
保育・教職実践演習（通）
こども保育・教育演習Ⅰ（通）
こども保育・教育演習Ⅱ（通）
卒業研究・卒業論文（通）
文学（信）

【3-1】著書・論文・社会活動（その他） 2021年度

分類	著書、学術論文等の名称	著者名	単著共著の別	発行又は発表年月	発行所、発行雑誌又は発表学会等の名称	概要
著書	保育実践に生かす保育内容「環境」	高内正子監修・上中修編著、五十嵐淳子、須永進、佐々木由美子ほか36名	共著	2021.12	教育情報出版	2章4節「子どもの育ちと環境にかかわる力の育ち」のおいて、探究心がどのように育っていくのか、どのような環境や援助が必要なのかについて解説した（pp.38-39).6章1節においては「日常生活の中での興味・関心がなぜ必要なのか」について、文字や記号との関わりについて解説した。（pp.82-83）
学術論文	川崎大治の「教育紙芝居」：保育実践の中で育まれたもの	佐々木由美子	単著	2021.03	白百合女子大学児童文化研究センター紙芝居研究プロジェクト 編『紙芝居研究』	誰が「教育紙芝居」をつくったのかという問題意識のもと、川崎大治が幼児紙芝居にもたらしたもの、川崎の保育実践のなかで生まれてきた紙芝居等について考察した。pp.26-31 （査読なし、依頼論文）
学術論文	3歳児は自然をどのように理解していくのか―絵本と実体験の間―	佐々木由美子、大谷真理子	共著	2021.09	東京未来大学保育・教育センター紀要『未来の保育と教育』8号	保育の中では、さまざまな自然体験が取り入れられているが、3歳児が自然現象をどのように理解していくのか。羽化や冬眠、捕食など1年間の事例をもとに考察した。pp.51-59　（査読有）

学術論文	保育における紙芝居の動向―1945年以降を中心に―	佐々木由美子	単著	2022.03	『東京未来大学研究紀要』16号	戦前、活発に研究・制作・実践が行われた教育紙芝居が、1945年以降、保育の中でどのように活用されてきたのか、その変遷について明らかにした。　（査読有）
学会発表	かこさとしのおける紙芝居の位置付け	相澤京子・佐々木由美子	共同	2021.05.	日本保育学会第74回大会	かこさとしの創作活動において、紙芝居はどのように位置づけることができるのか、また紙芝居が彼の後の創作活動にどのような影響を与えたのかについて明らかにした。（ポスター発表）
学会発表	「つるばら村」シリーズにおけるおみせやさん	佐々木由美子	単独	2021.11	日本児童文学学会	つるばら村シリーズにおける、お店やさんの持つ意味や、またそこで扱われるモノを中心に、つるばら村というファンタジー世界のあり方や、作品世界のあたたかさ、やさしさがどこから生まれてきているのかについて考察した。（口頭発表）
冊子	子どもたちと楽しく絵本を読みあいましょう	佐々木由美子	単著	2021.03	墨田区立ひきふね図書館	各保育所向けに、子どもたちと楽しく絵本を読みあうために気をつけるべきこと、絵本の読み方、選び方等について解説した。pp.1-12
雑誌	今を楽しむ子どもたち　困難のなかの希望	佐々木由美子	単著	2021.08	日本子どもを守る会編『子ども白書2021』かもがわ出版	2020年度、コロナ禍にあって、「鬼滅の刃」が大流行したこと、オンライン子ども支援等の動き、ボードゲームの人気復活などを踏まえ、子ども文化領域の総括を行なった。pp.176-178
雑誌	動物の視点から体感する自然	佐々木由美子	単著	2021.08	『絵本BOOKEND』2021 絵本学会	絵本に描かれた自然について、特に動物絵本に焦点をあて、自然がどのように描かれているのかについて考察した。pp.18-21
雑誌	外国の昔話における食べ物 -時代を超えて魅了する食べ物-	佐々木由美子	単著	2022.02	『語りの世界』72号	外国の昔話のなかに登場する食べ物に焦点を当て、その時代背景や食べ物のもつ社会的な意味などについて考察した。pp.14-19
講演	数量や文字に関わる感覚を豊かにするために	佐々木由美子	単独	2021.06	秦野私立南幼稚園	数量やもにに関わる感覚を豊かにするためにはどうしたらよいのか。発達や保育実践のなかから文字や言葉の育つ土壌について講演した。
講演	絵本をもっと楽しむために	佐々木由美子	単独	2021.08	百合ヶ丘めぐみ幼稚園	なにげなく保育の中でつかっている絵本だが、絵本をもっと楽しむために、絵本の構造、絵が伝えるものなどを中心に講演した。

講演	絵本の声を子どもに届けるために―伝えたいこと、感じてほしいものを探る―	佐々木由美子	単独	2021.10	足立区立本木保育園	絵本の声を子どもに届けるために、何が大切なのか。子どもの育ちにおける声の重要性、子どもの読みと大人の読みの違い等を踏まえて、大人の読みの押し付けではなく、子ども自身の読みや感性に寄り添うことの大切さについて講演した。
講演	絵本の声を子どもに届けるために② 絵本の成り立ちから考える	佐々木由美子	単独	2021.11	足立区立本木保育園	保育者が絵本そのものをよく理解しておく必要があること、絵本がどのようにつくられているのか、絵の持つ意味や役割などについて講演した。
講演	絵本の声を子どもに届けるために③ 昔話絵本について考える	佐々木由美子	単独	2021.12	足立区立本木保育園	幼児の昔話離れが言われるが、昔話の意味、昔話を絵本にすること、昔話の語りの様式等について講演した。

【3-2】研究資金獲得状況　2021年度

分類	研究費名称	機関・財団等	代表分担の別	研究課題名	採択金額　（円）
	なし				

【3-3】受賞・表彰

受賞者名（連名も含む）	名称	機関・財団等	年　　月
なし			